

最近の トピックス

1

臨床検査技師に
診療の補助として
採血に加え、
検体採取が業務追加される

今通常国会において、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための、関係法律の整備等に関する法律案(一括法)」が閣法として提出され、6月18日の参議院本会議において可決され成立しました。一括法で「臨床検査技師等に関する法律の一部改正」が成立し、臨床検査技師が診療の補助として採血に加え、検体採取が出来ることになりました。

この法律改正に伴い、平成27年4月から我々臨床検査技師が診療の補助として検体採取を行うことが出来ることとなります。具体的な検体採取項目については、今後、厚生労働省令において定められることとなりますが、検体採取を行うためには追加研修の受講が義務化されています。

現在、厚生労働省研究班において議論されている臨床検査技師に対する追加研修を、日臨技では生涯教育の一環として展開します。この受講は会員、非会員を問わず臨床検査技師として検体採取に携わるためには必須のものとなります。

予想される検体採取項目として

- インフルエンザ等の検体採取
- 表在からの検体採取
- 肛門からのスワブでの検体採取

等が想定されています。

これらは現在、医師、看護師が行っていることが検査技師に代るだけで、診療報酬上のメリットはありません。したがって検体の採取業務を理由に技師の増員は望めないでしょう。

例えば、インフルエンザ等の検体採取を行う場合はどうなるのでしょうか？

冬場の流行期になると検体採取に追われる日が続くことは容易に予想されます。先の話と考えると今から対応を考えておいた方がよいでしょう。

2

「糖尿病診断 アクセス革命」

ご存じでしたか？

(関連記事のまとめ)

「糖尿病診断アクセス革命」とは

2010年、日本の糖尿病人口はついに1,000万人の大台に乗りました。

この50年間でなんと40倍にも増加しています。このような糖尿病の激増にどのように立ち向かっていったらよいのでしょうか？ 糖尿病になっても Quality of Life を大きく損ねるような合併症を避けるには？ そもそも糖尿病を減らすにはどうしたらよいのでしょうか？ 現在、確実に言えることは「血液検査をしっかり受けること」「異常値が出たらきちんと医療機関を受診し、正しい対策を行うこと」です。しかしながら、糖尿病人口約1,000万人のうち、定期的に医療機関を受診している方は4分の1に満たないことが厚生労働省の調査で明らかになっています。「糖尿病診断アクセス革命」とは、このような現状を受け、「血液検査へのハードル」を下げるべく、最新の医療技術である「指先採血によるHbA1c測定」という方法での糖尿病スクリーニングを街の薬局店頭で行えるようにすることにより、未治療・未発見の糖尿病や糖尿病予備群の方々をすくい上げ、最終的には日本の糖尿病を減らすことを目指す地域医療連携プロジェクトです。

プロジェクト代表者 矢作直也（筑波大学大学院 内分泌代謝・糖尿病内科）

本プロジェクトでは、2010年10月より東京都足立区や徳島県の薬局店頭で、指先自己採血によるHbA1c測定によって糖尿病や予備群を早期に発見し、医療機関への受診勧奨を行ってきました。これまでの約3年半の間に約3,000人(糖尿病治療中の人は対象外)が指先HbA1c自己検査を受け、3割近くが糖尿病またはその予備群の疑いで医療機関へ受診勧奨となり、「新たな検査の場」が生かされました。

こんなプロジェクトが行われていたとは！

知らない間に革新的なことが起こっていたんですね。

医療機関を未受診の方の3割が糖尿病の予備軍とは・・・今までは予測であったことが今回のプロジェクトで実証されたわけです。

今後、POC検査で異常値を指摘された方が、我々の施設に受診され、早期治療につながることは 技師会としても歓迎すべきことだと思います。





職場紹介

地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院

〒509-2292 下呂市森 2211

Tel 0576-23-2222

★病院概要

平成 26 年 4 月 30 日 新築移転 5 月 1 日開業

診療科目 25 科

病棟数 6

病床数 206 床

★建物概要

階数 地上5階・屋上ヘリポート

構造 鉄筋コンクリート造・基礎免震構造

★外観

下呂市の東に位置し湯ヶ峰の麓、緑豊かな地に建設されました。



★特徴

基礎免震構造ですので地震災害時には災害対策拠点として機能できます。

全室個室（勿論特別室以外は個室無料）ですのでプライバシーの保護や感染対策上も有効です。



さて、臨床検査部の中はどうでしょう？

生理検査では超音波画像サーバで接続し動画対応し、心電図など波形データは独自のサーバで一元管理して電子カルテと連携しています。また、病理、細菌検査及び分析検査は独自のシステムを介して電子カルテ（富士通）と連携しています。

新病院では外来・救急部門と隣接し機能的に向上しました。

移転に関しては新設にかかわらず実験台から機器まですべて移設となりましたので準備、移設作業から移設後メンテナンスさらに救急検査対応も行ったためかなり苦労し検査部全員の協力無しには成功できませんでした。写真は頑張った検査部の面々です。

また、新病院のホームページを一度ご覧ください。（<http://www.gero-hp.jp/>）



近日の部門研修会案内

近日開催の部門部研修会情報です！各研修会とも、日臨技生涯教育制度に事前登録したもので、研修会参加者には専門教科 or 基礎教科として認定されます。また、「日本糖尿病療養指導士のための学会」として医療職研修<第1群>糖尿病療養指導研修単位が認定されるものもあります。各研修会案内に点数を記載していますので、ご確認下さい。研修会には、**会員カード**をご持参下さい。たくさんの方のご参加をお待ちしています！

<輸血細胞治療部門研修会>

日時

平成26年10月4日(土)
14:00 ~ 17:00

場所

可児とうのう病院

(旧 岐阜社会保険病院)

2階 講義室

内容：「血液型の基礎 血液型の症例報告と解説」

講師：BIO RAD 小黒 博之 先生

各施設で判定や対応に苦慮した事例を、講師の先生も交えて 皆さんで検討し情報共有したいと思います。

事前に、可児とうのう病院 樋口先生または、県立多治見 八木 までご連絡ください。

駐車場：病院駐車場をご利用下さい。

参加費：岐臨技会員は無料。

県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、非会員は 2,000 円。

※日臨技生涯教育制度 専門教科(20点)

※医療職研修<第1群>糖尿病療養指導研修単位 1.0 単位

連絡先 地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 輸血部
八木 良仁(210476)

TEL 0572-22-5311 内線 (2632)

第4回臨床微生物部門研修会

日時

平成26年10月 4日(土)
15:00 ~ 18:00

場所

岐阜大学

サテライトキャンパス

多目的講義室(中)

内容：「二級臨床試験士試験について」

講師：岐阜県総合医療センター 臨床検査科 後藤 雪乃 先生

内容：「グラム染色から読み解く感染症の病態」

講師：公立玉名中央病院 診療技術部 臨床検査科 永田 邦明 先生

駐車場：無料駐車場はありません。周辺の駐車場をご利用下さい。

参加費：岐臨技会員は無料。

県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、非会員は 2,000 円。

備考：研修会終了後に講師の先生を囲んで交流会(会費制)を予定しております。
参加希望者は以下の事項を明記し、メールして下さい。

①設名・所属 ②氏名 ③連絡先メールアドレス

宛先：anakayam@gifu-u.ac.jp 中山 麻美

申し込み期限：9月26日

(人数に限りがありますので、お早めにご連絡をお願い致します)

※日臨技生涯教育制度 専門教科(20点)

連絡先 岐阜大学医学部附属病院 検査部 中山 麻美(236411)

TEL 058-230-7259

<臨床検査総合部門研修会>

内容：「日臨技の今を知る！」(仮題)
講師：日臨技 専務理事 横地 常広 先生

日時
平成26年10月18日(土)
14:00 ~ 16:00

場所
岐阜中央病院
5階 大会議室

駐車場：東側及び西側(西中学西側)無料駐車場を
ご利用下さい。

参加費：岐阜臨技会員は無料。
県外技師会・日臨技のみの会員は300円、非会員は2,000円

※日臨技生涯教育制度 基礎教科(20点)
※医療職研修<第1群>糖尿病療養指導研修単位0.5単位

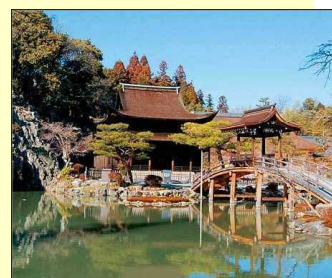
連絡先 岐阜中央病院 臨床検査課 森 さゆり(210416)
TEL 058-239-8111(内線2860)



第1回は、東濃地区から多治見市の
おすすめスポットと マスコットキャラクターを紹介します♪

虎溪山 永保寺は、鎌倉時代(1313年)に開
創された、小高い虎溪山に佇む禅寺です。正式
名称は臨済宗南禅寺派 虎溪山永保寺といいま
す。「虎溪」の名前の由来は、夢窓疎石がこの地
を訪れた際、中国 蘆山の虎溪の風景(現在は世
界遺産)に似ていたことに由来すると言われて
います。秋の紅葉狩りにもおすすめです。

多治見市 編



<虎溪山 永保寺>



<今や全国区! うながつぱ>

2007年8月16日、当時の国内最高気温40.9℃を記録し、「この暑
さにあやかって町をアツく元気にしよう!」と世話好きの血が騒ぎ
登場しました。うながつぱは「血を割られたかつぱ様」の話が起源
で、多治見市の名物であるうなぎを好んで食べたかつぱ様とも、う
なぎとかつぱ様のハーフとも言われています。

キャラクターのデザインは、アンパンマンの作者として知られてい
る「やなせたかし先生」です。(キャラクターは多治見市の許可を
得て掲載しています。)

広報宣伝部では会員の方からの寄稿を募集しています!!
地区ごとのおすすめスポットなどありましたら岐阜臨技事務局までお寄せください。

発行所(一社)岐阜県臨床検査技師会

発行責任者 兼子 徹

〒500-8384 岐阜市藪田南3丁目5番地10 コスタ岐阜県庁前603号

編集者 諏訪 浩 森本 勝男 松浦 康博

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220